

愛車協だより11月号

令和 6年11月10日 発行
愛知県自動車車体整備協同組合
発行責任者:正 治 博 史

愛車協HP・QRコード



教育委員会会議・事業委員会会議合同開催

10月10日(木)14:30より、愛知県特殊陶業市民会館で教育委員会及び事業委員会を同時開催しました。各委員会開催前にオブザーバーとして参加した、平岩理事長からの挨拶の中で、日車協連の動向等の説明があり、飯島教育委員長及び戸澤事業委委員長が開催の挨拶を行いました。



・教育委員会では、出席者9名により次の行事の詳細について検討しました。

1. 11月20日:教育委員会及び特認・推奨工場部会合同研修会
2. 12月8日・2月5日:高度化講習会
3. 来年度以降の車体整備講習の開催の方向性について

・事業委員会では、出席者9名により賛助会員との意見交換会の開催方法について検討されました。



今後の開催の在り方としてどのようにしていくか意見が交わされ、LINEグループの構築、宿泊を伴う開催、ガラスリペア講習の開催、支部長と賛助会員の意見交換会などの次回開催に向け提案されました。

中部車協連会議

中部車協連会議が10月16日(水)各事業場においてZoomによって開催されました。

今回もいつものメンバーに加えオブザーバーで調査研究委員及び教育・技術委員の10名の参加がありました。

冒頭平岩会長は、「中部にとって明るい未来となるよう意見を出し合い議論を進めていきたい」と挨拶があり、つぎの内容について意見が交

わされました。各単組の状況、日車協連の動きについて、日車協連の各委員会からの報告事項について



高度化車体整備技能講習開催のお知らせ

- ① 日時:令和6年12月8日(日)・令和7年2月5日(水) いずれも9:30~16:00
- ② 場所:1回目(株)三光社 2回目(株)エイニーズガレージ
- ③ 講師:平岩理事長・飯島副理事長・藤本教育委委員
- ④ 定員:各回30名
- ⑤ 費用:7,700円

先進安全自動車対応優良車体整備事業者は必修の講習となっていますので、必ず車体整備士1名は参加をお願いします。

詳細はHPでご確認ください

<https://aishakyo.jp/files/PDF/2024/20241208ginoukoushuukai.pdf.pdf>

特定整備工場の申請状況

特定整備工場制度開始に伴う取得済工場数は、10月末現在愛知県全体で3,990工場（愛整振情報）が電子制御装置整備を取得しており、愛車協組合員（136社）の取得社数は次のとおりです。

- ① 整備主任者等資格取得講習者数：142人
- ② 電子制御装置整備認証取得者数：121社
- ③ ②の内電子制御装置整備のみの取得者数：26社



中部運輸局優良事業者等表彰

10月24日（木）中部運輸局で14時30分から運輸関係優良事業者等表彰式が開催されました。中部運輸局管内の各事業分野での安全対策、環境対策、的確な自動車整備事業に貢献された144の事業者が受賞されました。



愛車協からは、環境対策へ貢献した、西尾支部の株三光社が表彰されました。

愛知運輸支局功労者等表彰



10月22日（火）名古屋市公会堂で14時から功労者等表彰式が開催されました。自動車業界で長年活躍し業界発展に顕著な功績をあげた、57名が受賞されました。受賞者の内訳は、事業の功労6名、永年勤続の功労51名で愛知運輸支局長から表彰状が手渡されました。

愛車協からは、平岩理事長が事業の功労者として表彰されました。

尾北支部勉強会開催

尾北支部（関戸支部長）は10月14日（月）9時から関戸钣金において勉強会を開催しました。

勉強会には11名の参加がありました。

以下の内容について、知識の習得に励みました。

- ・イサム塗料さんとカークさんのご協力による彩選短スマート調管理
- ・測色システムを使って実車で調色作業。
- ・アンダーコート材のピースト
- ・ヘッドランプコーティング材のレンズリオーマー
- ・水性塗料の現状と導入に向けての注意点



余談

先月の13日・14日、私の住む町で秋祭りが開催されました。大人の神輿に加え、子ども会が行う子供神輿もあり、自治会の役員として子供神輿のお手伝いをしました。しかし、年々子供が減少し、一つの自治会だけでは人数が足りないため、隣の自治会と合同での実施となりました。10名ほどの子供たちと一緒に、アシストしながら町内を練り歩きました。2日目は、掛け声が「わっしょい」から「もうむり」に変わり、思わず笑ってしまいました。



少子高齢化が進む現代において、人材確保の難しさを象徴しています。車体整備業界も同様に後継者不足が深刻で、雇用条件の見直しや職場環境の改善にはコストがかかりますが、それを支えるためには収益基盤強化が求められます。皆で知恵を出し合い、この業界をさらに盛り上げていくことが必要です。これからも共に頑張っていきましょう。